

一般国道57号 熊本環状連絡道路に係る新規事業採択時評価

1. 事業概要



図1 広域図

- ・起終点：熊本県合志市野々島～熊本県熊本市北区下硯川町
- ・延長等：3.9km
(第1種第3級、4車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費：約920億円 ・計画交通量：約38,500台／日

| 乗用車 | 小型貨物 | 普通貨物 |
|------------|-----------|-----------|
| 約27,200台/日 | 約5,700台/日 | 約5,600台/日 |

① 路線概要

なかきゅうしゅうとうおうだん おおいた おおいた くまもと くまもと
・中九州横断道路は大分県大分市から熊本県熊本市に至る延長約120キロ
の高規格道路。このうち、熊本環状連絡道路は、熊本県合志市野々島か
ら能木本島熊本県北市北上町に至る延長3.9キロの自動車専用道路

②事業目的

- ・当該区間の整備により、北の福岡方面と東の大分方面の玄関口となり、都市の骨格を形成し、国道3号や国道57号をはじめとする熊本都市圏の渋滞緩和が期待
 - ・半導体関連企業等の集積地と熊本中心部、交通拠点等を結び、安定した物流網を構築して地域経済を牽引し、日本の経済安全保障に貢献
 - ・速達性・高速性・定時性の向上により、救急医療活動や観光産業の活性化を支援

③事業実施に向けた検討状況

- ・熊本環状連絡道路は上位計画として地域高規格道路(H6.12月)、熊本都市圏都市交通マスターplan(H28.3月)、九州地方新広域道路交通計画(R3.7月)に位置づけ
 - ・地域課題等をふまえ、計画段階評価(R4.12月～R5.6月)において以下の政策目標を設定し、ルート構造を検討
 - ①高速性確保・渋滞緩和による生活環境の改善
 - ②高速性・定時性・走行性確保による産業の活性化
 - ③高速性の確保による観光振興の促進
 - ④救急医療機関等への達達性の向上
 - ⑤※市に強い道路をつくる形成

2. 評価結果

| ■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの) | | | | | | |
|---------------------------------------|--------|-----------|--------|------------------------|--|------------------|
| 費用便益分析 | B/C | (参考)※4 | EIRR※5 | 総費用 | 総便益 | 防災機能評価 |
| | 4.9% | 1.6 (4.0) | 1.7 | 6.4% (15%) | 11,414億円※2 (2,660億円※2) | 脆弱度 (防災機能ランク) |
| | [2%]※3 | 2.4 (6.1) | 2.6 | 7,214億円※2 (658億円※2) | 〔参考〕 走行時間削減による便益：940億円 G2掛川削除便益：79億円 | 累積脆弱度の変化量 |
| | [1%]※3 | 3.0 (7.7) | 3.3 | | | 改善度 |
| | | | | | | 通常時 災害時 評価 |

注)費用便益分析結果は、大都市～熊本市を対象とした場合、()書きの値は事業化区間を対象にした場合
※1:EIRR:経済的内部収益率　※2:基準年(令和6年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率:4%)

※3: 比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率

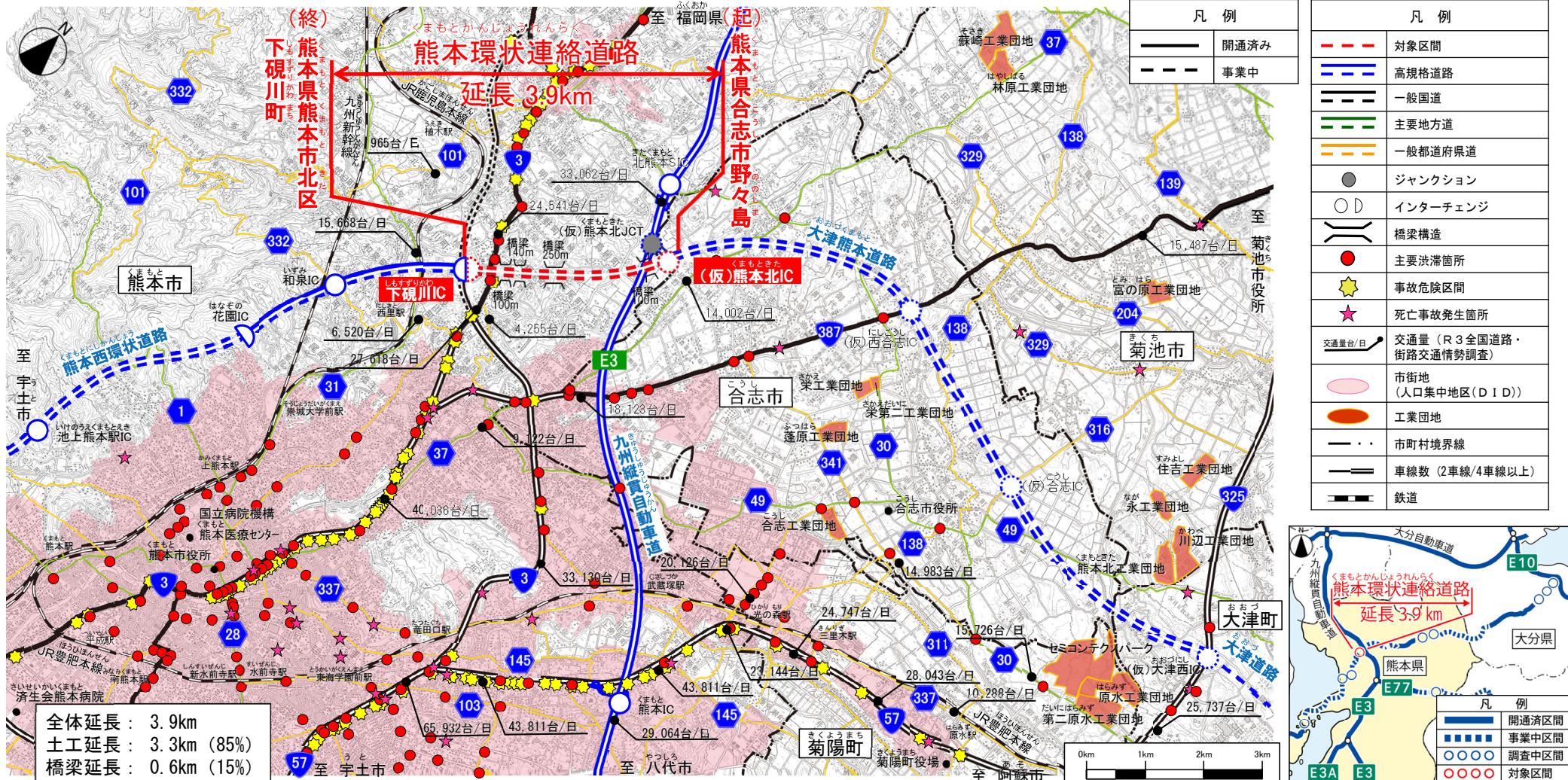
• [Home](#) • [About](#) • [Contact](#) • [Privacy Policy](#)

| 評価項目 | 評価 | 内容 |
|---------------------|--|---|
| 影響 歩行者や自動車への歩行空間 | 渋滞対策(政策目標①) 事故対策 歩行空間 | ◎ 交通転換により、渋滞緩和が図られる【渋滞損失時間の改善【現況】5.7万人時間／年・km ⇒ 【整備後】5.0万人時間／年・km】 ◎ 渋滞緩和により、事故の減少が見込まれる【死傷事故率【現況】45件／億台キロ ⇒ 【整備後】33件／億台キロ】 ○ 通過交通の転換に伴う、現道等の交通量減少により、歩行者、自転車の安全性向上に寄与 |
| 社会全体への影響 | 住民生活(政策目標④) | ◎ 速達性の向上による救急医療活動の支援 【阿蘇地域】 【課題】第三次救急医療施設が立地していない阿蘇地域では、管外搬送件数のうち約4割が熊本都市内の第三次救急医療施設へ搬送。国道57号の交通渋滞に巻き込まれ、搬送に時間がかかるており、速達性の確保が課題。(図3、図4) 【効果】(参考:貨幣換算)・速達性向上による救急医療施設へのアクセス向上効果:約204億円 第三次救急医療施設への搬送時間短縮により、地域で生活が営める環境を維持。 ○ 阿蘇市役所～熊本医療センターの所要時間【現況】104分 ⇒ 【整備後】70分(約34分短縮) ○ 大津町役場～熊本医療センターの所要時間【現況】67分 ⇒ 【整備後】46分(約21分短縮) 出典: R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度より【現況】現道利用ルート 【整備後】事業中含む九州横断道路+熊本環状連絡道路利用ルート(設計速度80km/hで算出) ○ 地域全体への影響のエッセンシャルネットワーク |
| | 地域経済(政策目標②) | ◎ 輸送効率の向上による産業活動の支援 【課題】中九州横断道路沿線には半導体関連企業等が立地し、製品・部品等を熊本港や九州純貢自動車道等から全国へ輸送。国道57号の交通渋滞により円滑な物流交通等を阻害。(図5、図6) 【効果】(参考:貨幣換算)・中九州横断道路等のインフラ整備による九州全体の経済波及効果:約2.5兆円/10年 交通・物流拠点へのアクセシビリティ向上により安定した物流網を構築。 ○ 企業集積地～熊本港の所要時間【現況】110分 ⇒ 【整備後】36分(約65分短縮) ※熊本県内工場地図(合志市、菊陽町、大津町の企業集積地のうち最東部の箇所) 出典: R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度より 【現況】現道利用ルート【整備後】事業中含む九州横断道路+熊本環状連絡道路利用ルート(設計速度80km/hで算出) |
| 災害(政策目標⑤) | ○ | 災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築により、持続可能な地域生活圏を維持。(参考:貨幣換算)・災害時の輸送向上の効果:約57億円 |
| 環境 | ○ | 環境(CO2排出量)の改善【CO2排出削減便益: 79億円】 |
| 地域社会(政策目標③) | ◎ 高速性・定時性向上による観光産業の活性化を支援 【課題】阿蘇地域は県内第1位の観光客数を誇り、約6割は県外からの来訪者。熊本駅等のゲートウェイからの来訪時は、国道57号の交通渋滞によりアクセシビリティが低く、高速性・定時性の確保が課題。(図7、図8、図9)(参考:貨幣換算)・アクセシビリティ向上による観光産業活性化効果:約1.3兆円 【効果】観光施設への移動時間短縮により、周遊性の高い道路ネットワークを構築。 ○ 熊本駅～阿蘇市役所の所要時間【現況】102分 ⇒ 【整備後】63分(約39分短縮) 出典: R3全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度より 【現況】現道利用ルート【整備後】事業中含む九州横断道路+熊本環状連絡道路 | |

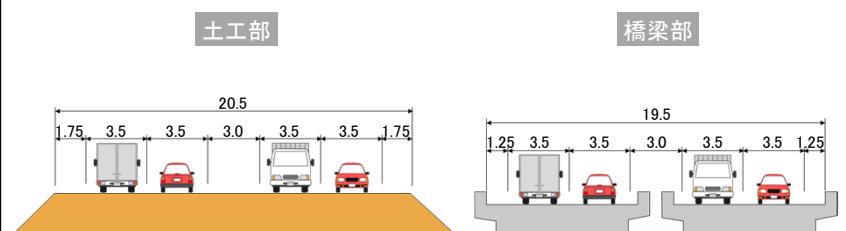
※有料道路事業の活用などについて 会後検討を行う予定である

※本事業は、リスク分析を行うとともに、着工前重点準備を実施

くまもとかんじょうれんらく 一般国道57号 熊本環状連絡道路に係る新規事業採択時評価



標準横断図 (単位:m)



計画縦断図

